

おすすめ砂丘マップ

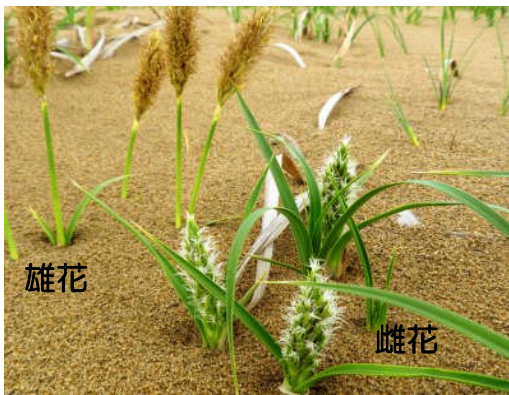
長〜い寒い冬がようやく終わり、待ちに待った春が砂丘にやってきた！植物達が一齐に砂丘を彩りはじめ、動物達が活動しだす。春の砂丘の見所をご紹介します！

春編 Part 1



春の砂丘を彩る植物 春に見られる砂丘植物をご紹介します！

コウボウムギ



◆コウボウムギは、4月〜5月にかけて開花し、春の訪れを感じさせてくれる植物です！

◆雌花と雄花を別の株につける、雌雄異株の植物です。

◆砂丘の中でも砂の移動が激しい場所に広く分布します。

雌花



雄花



コウボウムギの新芽



これから暖かくなると、どんどん大きくなっていきます！

枯れると筆のように！



トゲのように尖った地下茎を伸ばして群落を広げますが、砂が侵食されると枯れて、枯れた繊維の付いた節の部分は筆のようになります。

風が吹くと・・・



ハマニガナ



◆春と秋の2回、黄色い花をつけます。

◆ひとつひとつ単独の株に見えますが、地下茎が砂の中を這うように横に広がっていて、株同士が繋がっています。

◆茎や葉をちぎると白く苦い液が出る特徴から「浜の苦菜」→ハマニガナというのが名前の由来のようです。

ハマニガナおもしろ写真



コウボウムギ時計の出来上がり！

ハマニガナの葉に落ちた雨のしずく。よ〜く見ると何かに見えませんか？仮面ライダー？宇宙人？このようなオモシロ写真にも挑戦してみてください♪

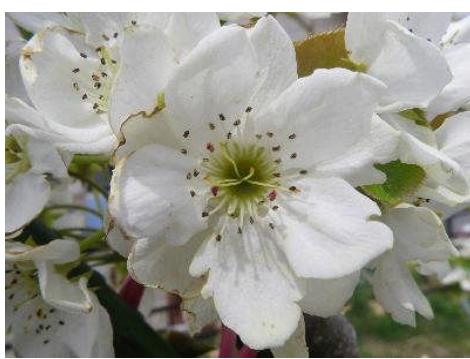
コウボウシバ



◆4月〜7月にかけて開花し、砂丘植物の中で最も水分を好むので、オアシス周辺に大群落をつくります。

◆細い上の穂が雄花、下の穂が雌花、同じ株です。

番外編



砂丘植物ではありませんが、左の写真は鳥取県特産の二十世紀梨の花です。サンドパルと通りの敷地内には5本の梨の木が植えられていて、白くかわいらしい花をつけます。右の写真はハマダイコンです。鳥取砂丘でも見られます！

